第3章 ミャンマー

ーコメと豆類の需給動向ー

明石光一郎

はじめに

ミャンマーはこの 30 年以上にわたり世界第 7 位のコメ生産国である。また、1961~63 年においては、150 万トン以上を輸出する世界一のコメ輸出国であった。その後、コメ輸出は低迷を続け、タイ、インド、ベトナムに追い抜かれた。輸出量も FAOSTAT の数値では1967 年以降 100 万トン未満である。ただし、USDA の推計値では、2002 年と 2009 年以降はかろうじて 100 万トンを超えている。しかしながら、このミャンマーのコメ輸出低迷は強権的な政策の失敗によるものである(1)。政策転換によりミャンマーが再度コメ輸出大国として復活する可能性もありうる。折しも、ミャンマーでは2011 年に軍事政権から民事政権への移管が進み米欧の経済制裁が緩和された。2015 年の国政選挙ではアウンサンスーチー率いる国民民主連盟(NLD)が大勝した。今後は国外からの投資がさらに増加し、農業はミャンマーの最大の産業であるため、農業への投資も増加すると期待できる。

本稿では FAOSTAT と USDA のデータに大きな違いがあるため両者を併用して、ミャンマーの近年のコメ生産動向と輸出動向をトレースし、再びコメ輸出大国として回復基調にあるのかそれとも長期低迷を抜け出せないでいるのか検討を試みる。さらに、コメ輸出の低迷とは裏腹に、乾燥豆の輸出は劇的に増大したので、その動向について概観することとする。

1. ミャンマーの農業の主要農産物

まず、ミャンマー農業の 2012 年度における主要作物の播種面積をあげる(第 1 表) $^{(2)}$ 。 播種面積の約 40%が穀物であるが、特にコメの比率が高く 34%を占めている。次に多いのが豆類であり 21%を占めている。さらに油糧種子が 16%となっている。

第1表 主要産物の播種面積(2012年)

単位: 1000ha, %

		単位:1000ha, %
	播種面積	播種面積比率
	(1000ha)	(%)
1 穀物	8,360	39.7
a コメ	7,241	34.4
b 小麦	99	0.5
c トウモロコシ	422	2.0
d その他の穀物	598	2.8
2 油糧種子	3,414	16.2
a ラッカセイ	912	4.3
b ごま	1,553	7.4
c ヒマワリ	496	2.4
d オイルパーム	144	0.7
e その他の油糧種子	309	1.5
3 豆類	4,449	21.1
a ケツルアズキ	1,108	5.3
b グリーングラム	1,087	5.2
c ひよこエンドウ	362	1.7
d キマメ	613	2.9
e バタービーン	64	0.3
f Sultani	14	0.1
g Sultapya	108	0.5
h 大豆	158	0.7
i その他	936	4.4
4 工業作物	1,018	4.8
a コットン	278	1.3
b サトウキビ	154	0.7
c ジュート	0	0.0
d ケナフ e ラバー	1	0.0
e ラバー	581	2.8
f バージニアタバコ	3	0.0
5 料理作物	341	1.6
a ポテト	37	0.2
b タマネギ	72	0.3
c ニンニク	29	0.1
d チリ	113	0.5
e スパイス	90	0.4
6 プランテーション作物	207	1.0
a 茶	91	0.4
b コーヒー	20	0.1
c ココナッツ	57	0.3
d トディ(Toddy)	39	0.2
7 野菜	541	2.6
8 果物	588	2.8
9 Miscellaneous	369	1.8
10 その他	1,758	8.4
合計	21,047	100.0

資料: Ministry of Agriculture and Irrigation.

第2表 農畜産物生産額

単位:100万チャット.%.倍

	,		単位:100万チャット, %, 倍					
	2003		2013		(2013/2003)			
	生産額	構成比	生産額	構成比	生産額比率			
	(100万チャット)	(%)	(100万チャット)	(%)	(倍)			
穀物	2,316,623	52.2	6,534,478	36.7	3			
小麦	23,067	0.5	75,163	0.4	3			
コメ	2,215,306	49.9	5,873,272	33.0	3			
トウモロコシ	48,612	1.1	473,253	2.7	10			
粟, 黍	8,459	0.2	58,768	0.3	7			
キャッサバ	21,178	0.5	54,023	0.3	3			
油糧種子	609,735	13.7	2,629,912	14.8	4			
ラッカセイ	309,600	7.0	1,299,239	7.3	4			
ゴマ	209,691	4.7	1,049,477	5.9	5			
ヒマワリ	77,548	1.7	211,536	1.2	3			
マスタードシード	12,897	0.3	69,660	0.4	5			
豆類	548,431	12.4	2,991,087	16.8	5			
乾燥豆	332,599	7.5	2,196,154	12.3	7			
エンドウ豆、乾燥	8,583	0.2	35,168	0.2	4			
ひよこ豆	44,634	1.0	235,811	1.3	5			
ササゲ、乾燥	24,480	0.6	77,198	0.4	3			
キマメ	109,887	2.5	373,708	2.1	3			
レンズ豆	230	0.0	990	0.0	4			
大豆	28,017	0.6	72,058	0.4	3			
工業作物	114,813	2.6	519,932	2.9	5			
種子綿	9,860	0.2	43,325	0.2	4			
綿実	996	0.0	6,564	0.0	7			
コットン糸くず	9,963	0.2	63,293	0.4	6			
サトウキビ	24,203	0.5	85,202	0.5	4			
ジュート	2,756	0.1	309	0.0	0			
その他植物繊維	529	0.0	2,190	0.0	4			
タバコ	33,749	0.8	96,660	0.5	3			
ゴム	32,756	0.7	222,389	1.2	7			
料理作物	283,568	6.4	1,208,248	6.8	4			
ジャガイモ	37,080	0.8	213,040	1.2	6			
玉ねぎ	87,886	2.0	279,545	1.6	3			
ニンニク	39,425	0.9	179,803	1.0	5			
プランタン	119,177	2.7	535,860	3.0	4			
プランテーション作物	39,989	0.9	98,406	0.6	2			
コーヒー	1,323	0.0	15,867	0.1	12			
茶	16,785	0.4	39,189	0.2	2			
ココナッツ	21,881	0.5	43,350	0.2	2			
畜産物	522,829	11.8	3,835,127	21.5	7			
合計	4,435,988	100.0	17,817,190	100.0	4			

資料:FAOSTAT.

注. 品目の分類はMinistry of Agriculture and Irrigation の分類に合わせた. 為替レートは,2003年には1ドルが778チャット,2013年には1ドルが934チャット.

第3表 農畜産物輸出額

単位: 1000\$, %, 倍

	2003:	年	2013년	Ę.	(2013/ 2003)
	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額比率
	(1000\$)	(%)	(1000\$)	(%)	(倍)
乾燥豆	272,000	57.7	1,050,000	74.5	3.9
コメ	71,000	15.1	157,910	11.2	2.2
ゴマ	24,764	5.3	32,000	2.3	1.3
牛	5,326	1.1	20,960	1.5	3.9
トウモロコシ	8,588	1.8	18,480	1.3	2.2
ひよこ豆	19,956	4.2	10,472	0.7	0.5
合計	471,422	100.0	1,409,843	100.0	3.0

資料:FAOSTAT.

つぎに第2表に農畜産物生産額を示す。2003年において穀物は全農畜産物生産額の52%, コメは50%, 豆類は12%, 畜産物は12%であった。2013年には, 穀物の比率は減少して 37%, コメは33%, 豆類は17%とやや増加している。豆類のなかでも乾燥豆の比率が特に 高いことがわかる。畜産物は22%と倍増している。従って生産額でみてもコメと豆類特に 乾燥豆が重要な品目であることがわかる。

続いて第3表で農畜産物の輸出額をみる。乾燥豆の比率が圧倒的に高く,2003年で58%,2013年には75%にまで増加していることがみてとれる。ただし2003年から2013年への変化率をみると、乾燥豆は2003年に最大の構成額であったにも3.9倍と同分類中では最大であった。

以上より、コメは播種面積でみても生産額でみてもミャンマーの最重要作物であること、 乾燥豆は輸出作物として最重要作物であることが確認できた。以下ではコメと豆類に焦点 を当てて分析を進めることとする。

2. コメ

(1) ミャンマーのコメ生産:統計による違いを踏まえて

1) 世界におけるミャンマーのコメ

第4表と第5表に世界のコメ生産とミャンマーの位置づけを示す。第4表は FAOSTAT の統計であり、その値は各国政府から提供された値を使用しているので、ミャンマー政府統計と一致する。第5表は USDA (米国農務省) の推計値である。ミャンマー政府統計はコメ生産を過大に評価する傾向があり、他方 USDA はどちらかといえば過小に評価する傾向があることは多くの研究者から指摘されている⁽³⁾。本稿では、両者の値にかなりの違いがあるので、可能な限り双方の値を掲載することとする。

第4表 世界のコメ生産 (FAOSTAT)

単位:1000ton

l	中国	インド	インドネシア	バングラデッシュ	ベトナム	タイ	ミャンマー	フィリピン	ブラジル	<u>u.1000ton</u> 日本
1980	139,910	80,312	29,652	20,821	11,647	17,368	13,317	7,646	9,776	12,189
1981	143,955	79,883	32,774	20,446	12,415	17,774	14,147	7,911	8,228	12,824
1982	161,600	70,772	33,584	21,325	14,390	16,879	14,373	8,534	9,735	12,838
1983	168,865	90,048	35,303	21,761	14,743	19,549	14,288	7,295	7,742	12,958
1984	178,255	87,553	38,136	21,933	15,506	19,905	14,256	7,829	9,027	14,848
1985	168,569	95,818	39,033	22,556	15,875	20,264	14,317	8,806	9,025	14,578
1986	172,224	90,779	39,727	23,110	16,003	18,868	14,127	9,247	10,405	14,559
1987	174,260	85,339	40,078	23,121	15,103	18,428	13,638	8,540	10,425	13,284
1988	169,110	106,369	41,676	23,316	17,000	21,263	13,167	8,971	11,806	12,419
1989	180,130	110,311	44,726	26,784	18,996	20,601	13,807	9,459	11,030	12,934
1990	189,331	111,517	45,179	26,778	19,225	17,193	13,972	9,885	7,421	13,124
1991	183,381	112,042	44,688	27,242	19,622	20,400	13,204	9,673	9,488	12,005
1992	186,222	109,001	48,240	27,373	21,590	19,917	14,840	9,513	10,006	13,216
1993	177,514	120,400	48,181	26,928	22,837	19,530	16,763	9,434	10,107	9,793
1994	175,933	122,640	46,642	25,124	23,528	21,111	18,199	10,538	10,541	14,976
1995	185,226	115,440	49,744	26,399	24,964	22,016	17,957	10,541	11,226	13,435
1996	195,102	122,500	51,102	28,182	26,397	22,332	17,680	11,284	8,644	12,930
1997	200,730	123,700	49,377	28,152	27,524	23,580	16,651	11,269	8,352	12,531
1998	198,712	129,055	49,237	29,710	29,146	23,450	17,078	8,555	7,716	11,200
1999	198,487	134,496	50,866	34,430	31,394	24,172	20,126	11,787	11,710	11,469
2000	187,908	127,465	51,898	37,628	32,530	25,844	21,324	12,389	11,090	11,863
2001	177,581	139,900	50,461	36,269	32,108	28,034	21,916	12,955	10,184	11,320
2002	174,539	107,730	51,490	37,593	34,447	27,992	21,805	13,271	10,457	11,111
2003	160,656	132,789	52,138	38,361	34,569	29,474	23,146	13,500	10,335	9,740
2004	179,089	124,697	54,088	36,236	36,149	28,538	24,939	14,497	13,277	10,912
2005	180,588	137,690	54,151	39,796	35,833	30,292	27,683	14,603	13,193	11,342
2006	181,718	139,137	54,455	40,773	35,850	29,642	30,924	15,327	11,527	10,695
2007	186,034	144,570	57,157	43,181	35,943	32,099	31,451	16,240	11,061	10,893
2008	191,827	148,036	60,251	46,742	38,730	31,651	32,573	16,816	12,061	11,029
2009	195,103	135,673	64,399	48,144	38,950	32,116	32,682	16,266	12,651	10,592
2010	195,761	143,963	66,469	50,061	40,006	34,409	32,580	15,772	11,236	10,604
2011	201,001	157,900	65,757	50,627	42,398	36,128	29,010	16,684	13,477	10,500
2012	204,285	157,800	69,056	50,497	43,662	37,469	28,080	18,032	11,550	10,654
2013	203,612	159,200	71,280	51,500	44,039	36,063	28,767	18,439	11,783	10,758
2014 答案L·FAO	206,507	157,200	70,846	52,231	44,974	32,620	26,423	18,968	12,176	10,549

資料: FAOSTAT.

第5表 世界のコメ生産 (USDA)

単位:1000ton

	中国	インド	インドネシア	バングラデッシュ	ベトナム	タイ	ミャンマー	フィリピン	ブラジル	U: TOUUton 日本
1980	139.906	80.527	32.774	20.844	11.842	17.368	10.680	7.723	8.638	12.188
1981	143.954	79.952	33,584	20,844	13,238	17,306	10,760	8,110	9,154	12,188
1982	161.596	79,932	35,364	20,467	15,232	16.877	10,760	7,731	7.800	12,838
1983	161,596	70,681	35,303	21,345	15,232	16,877	10,960	7,731	7,800	12,838
1984	178.256	87.514	39,032	21,932	16,358	19,905	11,320	8,200	8.765	14.848
1985	168,570	95,747	39,726	22,562	15,955	20,264	11,500	9,097	9,816	14,546
1986	172,224	90,633	38,310	23,111	14,905	18,868	11,800	8,971	10,578	14,577
1987	173,880	85.302	41.675	23,111	17,427	18,427	11,400	8,680	11,800	13,284
1988	169,110	105.744	44,726	23,122	18,248	21,264	12,500	9,225	11,800	12,419
1988	180,130	1105,744	45,178	26,793	19,350	20,602	13,500	8,900	7,971	12,419
1990	189,331	111,448	44,680	26,781	18,777	17,192	13,695	9,885	10,000	13,124
1991 1992	183,810	112,031	48,231	27,378	22,179	20,400	12,800	9,132	10,100	12,005
	186,220	109,313	48,182	27,513	22,183	19,917	13,400	9,523	9,901	13,216
1993	177,700	120,462	46,638	27,064	24,317	19,200	15,086	9,923	10,515	9,793
1994	175,930	122,727	49,743	25,252	24,615	21,400	16,000	10,475	11,235	14,977
1995	185,214	115,482	51,100	26,533	26,792	21,800	17,000	11,174	10,026	13,435
1996	195,100	122,607	49,360	28,326	27,277	20,700	15,517	11,177	9,524	12,930
1997	200,700	123,822	49,237	28,296	28,930	23,500	15,345	9,982	8,462	12,532
1998	198,714	129,133	50,866	29,784	30,467	23,620	16,000	10,268	11,582	11,201
1999	198,480	134,533	51,899	34,602	31,706	25,000	17,000	11,957	11,424	11,470
2000	187,909	127,483	51,500	37,633	31,020	25,844	18,571	12,515	10,196	11,863
2001	177,580	140,024	51,101	36,469	31,873	26,514	18,000	13,000	10,393	11,321
2002	174,543	107,741	51,800	37,784	32,617	26,058	18,600	13,000	10,368	11,111
2003	160,660	132,808	54,301	39,232	33,458	27,289	18,500	14,154	12,807	9,740
2004	179,090	124,707	54,000	38,404	34,418	26,303	16,500	14,500	13,229	10,912
2005	180,591	137,699	54,200	43,141	34,503	27,576	18,000	15,109	11,579	11,342
2006	181,714	140,039	54,729	43,504	34,730	27,652	18,276	15,516	11,316	10,695
2007	186,034	145,050	57,364	43,204	36,932	30,000	18,500	16,633	12,057	10,893
2008	191,900	148,785	59,395	46,805	38,904	30,076	17,500	17,071	12,603	11,038
2009	195,100	133,648	57,276	46,505	39,989	30,697	18,191	15,511	11,660	10,622
2010	195,714	143,984	56,349	47,555	42,194	30,700	17,281	16,729	13,676	10,705
2011	201,000	157,981	57,480	50,555	43,443	31,000	17,927	17,000	11,600	10,731
2012	204,286	157,876	57,559	50,735	44,059	30,606	18,305	18,140	11,819	10,883
2013	203,614	159,826	57,165	51,590	45,058	31,000	18,683	18,822	12,206	10,902
2014	206,514	157,216	56,000	51,755	45,176	28,409	19,688	18,913	12,449	10.772

資料: USDA, "PSD Online".

第6表 世界のコメ生産における FAO 統計と USDA 統計の比率

	中国	インド	インドネシア	バングラデッシュ	ベトナム	タイ	ミャンマー	フィリピン	ブラジル	日本
1980	100	100	90	100	98	100	125	99	113	100
1981	100	100	98	100	94	100	131	98	90	100
1982	100	100	95	100	94	100	131	110	125	100
1983	104	127	100	102	97	116	130	94	99	101
1984	100	100	98	100	95	100	126	95	103	100
1985	100	100	98	100	99	100	124	97	92	100
1986	100	100	104	100	107	100	120	103	98	100
1987	100	100	96	100	87	100	120	98	88	100
1988	100	101	93	100	93	100	105	97	106	100
1989	100	100	99	100	98	100	102	106	138	100
1990	100	100	101	100	102	100	102	100	74	100
1991	100	100	93	100	88	100	103	106	94	100
1992	100	100	100	99	97	100	111	100	101	100
1993	100	100	103	99	94	102	111	95	96	100
1994	100	100	94	99	96	99	114	101	94	100
1995	100	100	97	99	93	101	106	94	112	100
1996	100	100	104	99	97	108	114	101	91	100
1997	100	100	100	99	95	100	109	113	99	100
1998	100	100	97	100	96	99	107	83	67	100
1999	100	100	98	100	99	97	118	99	103	100
2000	100	100	101	100	105	100	115	99	109	100
2001	100	100	99	99	101	106	122	100	98	100
2002	100	100	99	99	106	107	117	102	101	100
2003	100	100	96	98	103	108	125	95	81	100
2004	100	100	100	94	105	108	151	100	100	100
2005	100	100	100	92	104	110	154	97	114	100
2006	100	99	99	94	103	107	169	99	102	100
2007	100	100	100	100	97	107	170	98	92	100
2008	100	99	101	100	100	105	186	99	96	100
2009	100	102	112	104	97	105	180	105	109	100
2010	100	100	118	105	95	112	189	94	82	99
2011	100	100	114	100	98	117	162	98	116	98
2012	100	100	120	100	99	122	153	99	98	98
2013	100	100	125	100	98	116	154	98	97	99
2014	100	100	127	101	100	115	134	100	98	98

資料:第1表と第2表より求めた.

注. (FAOSTAT統計値/USDA統計値)×100により計算.

ミャンマーのコメ生産は、1980年から2014年にかけて世界第7位の座をキープしている。ただし、FAOSTATではミャンマーはタイにつぐ生産量を確保しており常に世界第7位であるが、USDAによるとミャンマーのコメ生産増加率が比較的低いために近年ではフィリピンと大差がない水準になっている。データソースによる違いはあるものの、この20年以上にわたりミャンマーがコメ生産大国であり続けてきたことは間違いない。

ミャンマーのコメ生産統計が具体的にどの程度 USDA の統計と乖離しているのか、第6表により確認しておく。第6表は1980年から2014年にかけてコメ生産量がトップテンの国のFAOSTATデータをUSDAデータで除して100をかけたものである。同表からわかることは、中国、インド(1984年を除く)、日本、バングラデシュ、及びフィリピンではFAOSTATとUSDAのデータがほぼ一致しているということである。タイ、インドネシア、ベトナムでは両者の違いが大きい年もあるが、それでもおおむね20%程度である。ブラジルでは1989年の138を除き、毎年20%に収まっている。ところがミャンマーは全く異なる。1980~2003年まではFAOSTATデータ(ミャンマー政府統計値)がUSDAデータよりも6~20%程度大きかった。かつ、2004年以降は両者の格差は増大している。FAOSTATデータはUSDAデータよりも50%以上大きく、特に2008~2010年では80%以上も大きい。コメ生産大国で政府発表値とUSDA推計値が大きく乖離する国は他にはない。ミャンマー政府が発表するコメ生産統計は事実よりも過大な数値を発表している可能性が高いことは多くの研究者が指摘している40。一方、USDAデータについても過小推計の可能性があ

ることを室屋(2012)が詳細に記述している。おそらく、ミャンマーの現実のコメ生産量は、FAOSTAT(ミャンマー政府の統計)データと USDA データの間のどこかにあるものと考えてよさそうである。

2) コメの生産量,収穫面積及び単収

ミャンマーのコメ生産統計を統計の入手可能な 1961 年から 2013 年までを第 7 表に示す。ミャンマー政府の推計値をそのまま掲載した FAOSTAT データと米国農務省が独自に推計した USDA データの双方を示す。また、両者の比も示しておく。

第1図はミャンマーのコメ生産量である。生産量は、1961年から79年まではFAOSTAT データとUSDAデータはほぼ一致している。しかし80年以降、FAOSTAT データのほうが大きな値をとるようになる。89年から2000年までは両者は似た動きを示す。しかし2000年以降になると、両者はは全く異なる動きを示すようになる。すなわち、FAOSTAT データは上昇傾向を続けるが、USDA データは停滞する。そのため2000年以降は両データの差が大きく拡大することになる。USDA データでは、コメ生産量は2000~2013年にかけて2000万トンを超えることなく停滞したままで推移している。しかしFAOSTAT データでは、2006年に3000万トンを超える。しかし、2010年を頂点として生産量は低下し始める。

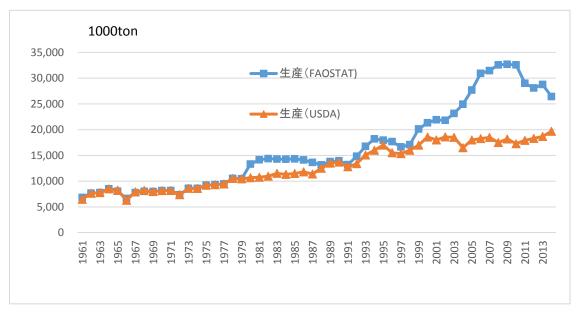
ミャンマーのコメ生産量の推移を収穫面積と単収に分けて考察する。まず収穫面積であるが、第2図に示すように1961年から1991年までの30年間にわたり400万ヘクタールから500万ヘクタールの間を推移しており、目立った増加はなかった。1992年から収穫面積の増加が始まり2005年まで続く。2005年の時点で収穫面積は700万ヘクタールに達している。2006年以降はFAOSTATデータとUSDAデータではやや異なる動きを示している。FAOSTATデータでは2004年から2006年にかけて収穫面積の急増が生じており、2006年には800万ヘクタールに達してから、停滞局面に入っている。USDAデータでは2005年から既に停滞しており、700万ヘクタールから殆ど増加していない。従って、2006年以降はFAOSTATデータではUSDAデータよりも約100万ヘクタール多くなっている。

第7表 ミャンマーのコメ生産、収穫面積、単収

単位:1000ton, 1000ha, ton/ha

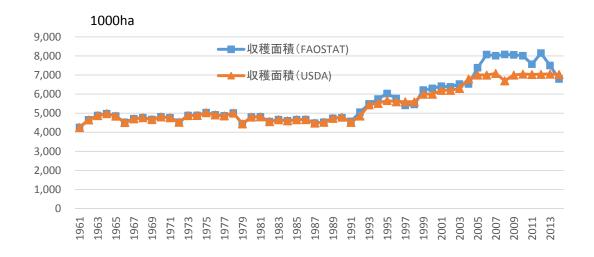
				1			単位:100	単位: 1000ton, 1000ha, ton/ha			
		<u>OSTATのデ</u>			027107	タ	FAOSTA	「データ/US	SDAデータ		
	生産	収穫面積	単収	生産	収穫面積	単収	生産	収穫面積	単収		
	(1000ton)	(1000ha)	(ton/ ha)	(1000ton)	(1000ha)	(ton/ ha)					
1961	6,834	4,254	1.61	6,486	4,254	1.52	1.05	1.00	1.05		
1962	7,665	4,654	1.65	7,666	4,654	1.65	1.00	1.00	1.00		
1963	7,783	4,878	1.60	7,790	4,877	1.60	1.00	1.00	1.00		
1964	8,508	4,976	1.71	8,509	4,979	1.71	1.00	1.00	1.00		
1965	8,055	4,848	1.66	8,258	4,848	1.70	0.98	1.00	0.98		
1966	6,636	4,517	1.47	6,285	4,513	1.39	1.06	1.00	1.06		
1967	7,769	4,706	1.65	7,942	4,706	1.69	0.98	1.00	0.98		
1968	8,023	4,763	1.68	8,200	4,764	1.72	0.98	1.00	0.98		
1969	7,985	4,672	1.71	7,986	4,671	1.71	1.00	1.00	1.00		
1970	8,162	4,809	1.70	8,179	4,809	1.70	1.00	1.00	1.00		
1971	8,175	4,764	1.72	8,192	4,764	1.72	1.00	1.00	1.00		
1972	7,357	4,528	1.62	7,373	4,528	1.63	1.00	1.00	1.00		
1973	8,602	4,880	1.76	8,600	4,880	1.76	1.00	1.00	1.00		
1974	8,583	4,884	1.76	8,584	4,884	1.76	1.00	1.00	1.00		
1975	9,208	5,030	1.83	9,210	5,030	1.83	1.00	1.00	1.00		
1976	9,319	4,912	1.90	9,320	4,912	1.90	1.00	1.00	1.00		
1977	9,462	4,864	1.95	9,461	4,864	1.95	1.00	1.00	1.00		
1978	10,528	5,011	2.10	10,530	5,011	2.10	1.00	1.00	1.00		
1979	10,448	4,442	2.35	10,450	4,442	2.35	1.00	1.00	1.00		
1980	13,317	4,801	2.77	10,680	4,801	2.22	1.25	1.00	1.25		
1981	14,147	4,809	2.94	10,760	4,811	2.24	1.31	1.00	1.32		
1982	14,373	4,562	3.15	10,960	4,560	2.40	1.31	1.00	1.31		
1983	14,288	4,659	3.07	11,520	4,661	2.47	1.24	1.00	1.24		
1984	14,256	4,601	3.10	11,320	4,603	2.46	1.26		1.26		
1985	14,317	4,661	3.07	11,500	4,660	2.47	1.24		1.24		
1986	14,127	4,666	3.03	11,800	4,666	2.53	1.20		1.20		
1987	13,638	4,483	3.04	11,400	4,483	2.54	1.20	1.00	1.20		
1988	13,167	4,527	2.91	12,500	4,527	2.76	1.05	1.00	1.05		
1989	13,807	4,732	2.92	13,500	4,733	2.85	1.02	1.00	1.02		
1990	13,972	4,760	2.94	13,695	4,797	2.85	1.02	0.99	1.03		
1991	13,204	4,575	2.89	12,800	4,524	2.83	1.03	1.01	1.02		
1992	14,840	5,056	2.94	13,400	4,855	2.76	1.11	1.04	1.06		
1993	16,763	5,487	3.06	15,086	5,443	2.77	1.11	1.01	1.10		
1994	18,199	5,743	3.17	16,000	5.517	2.90	1.14	1.04	1.09		
1995	17,957	6,033	2.98	17,000	5,666	3.00	1.06	1.06	0.99		
1996	17,680	5,769	3.06	15,517	5,600	2.77	1.14		1.11		
1997	16,651	5,408	3.08	15,345	5,600	2.74	1.09	0.97	1.12		
1998	17,078	5,459	3.13	16,000	5,600	2.86	1.07	0.97	1.10		
1999	20,126	6,211	3.24		6,000	2.83	1.18		1.14		
2000	21,324	6,302	3.38	18,571	6,000	3.10	1.15		1.09		
2001	21,916	6,413	3.42	18,000	6,200	2.90	1.22		1.18		
2002	21,805	6,381	3.42	18,600	6,200	3.00	1.17		1.14		
2003	23,146	6,528	3.55	18,500	6,300	2.94	1.25		1.21		
2004	24,939	6,533	3.82	16,500	6,800	2.43	1.51		1.57		
2005	27,683	7,384	3.75	18,000	7,000	2.57	1.54		1.46		
2006	30,924	8,074	3.83	18,276	7,000	2.61	1.69		1.47		
2007	31,451	8,011	3.93	18,500	7,085	2.61	1.70		1.50		
2008	32,573	8,078	4.03	17,500	6,700	2.61	1.86		1.54		
2009	32,682	8,058	4.06	18,191	7,000	2.60	1.80		1.56		
2010	32,580	8,012	4.07	17,281	7,050	2.45	1.89		1.66		
2011	29,010	7,567	3.83	17,201	7,030	2.55	1.62	1.08	1.50		
2012	28,080	8,150	3.45	18,305	7,030	2.60	1.53		1.33		
2012	28,767	7,500	3.43	18,683	7,040	2.65	1.54		1.45		
2013	26,423	6,790	3.89	19,688	7,030	2.80	1.34		1.43		
	20,423			13,008	1,030	2.00	1.54	0.87	1.39		

資料: FAOSTAST, USDA "PSD Online".



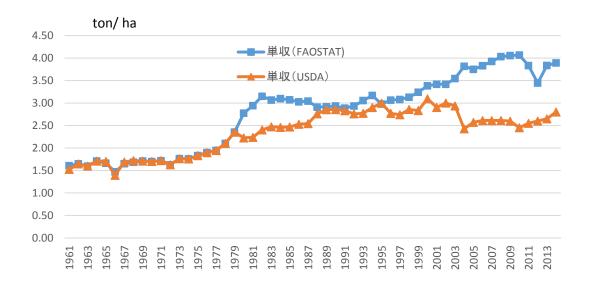
第1図 ミャンマーのコメ生産量

資料: FAOSTAT, USDA "PSD Online".



第2図 ミャンマーのコメ収穫面積

資料:FAOSTAT, USDA "PSD Online".



第3図 ミャンマーのコメ単収

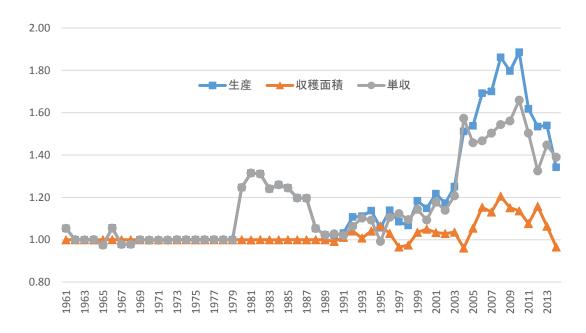
資料: FAOSTAT, USDA "PSD Online".

つぎに単収を考察する (第 3 図)。FAOSTAT データによると、単収は 1961 年のヘクタール当たり 1.61 トンから 1977 年のヘクタール当たり 1.95 トンへと緩やかに増加し、その後 1982 年に 3.15 トンに達するまでは急激に増加する。1978~82 年の 5 年間でヘクタール当たり収量が 1 トンも増えているのである。1983 年以降は長期停滞に入り 1998 年まで殆ど単収の増加はなかった。1998 年以降は上昇トレンドに入り、2011 年にはヘクタール当たり 4 トンを超えている。

USDA データは、1961 年から 1979 年までは FAOSTAT データとほぼ一致しているが、 1979 年以降は FAOSTAT データと大きく異なっている。

USDA データによる単収動向をまとめると、1961年のヘクタール当たり約1.5トンから 1990年代後半の約3トンまで緩やかに増加し、2000年以降は伸びなやみ、2004年に大きく減少して、その後は約2.6トンで低迷したままである。

FAOSTAT データと USDA データを比較すると、1995 年には一致しているが、その後の両者の動きが逆になっていて興味深い。すなわち、FAOSTAT データでは 1995 年以降増加傾向にあり、USDA データでは減少傾向にある。その結果として 2010 年の単収は FAOSTAT データではヘクタール当たり 4.07 トンであるのに対して、USDA データでは 2.45 トンであり、1.5 トン以上の格差が生じている。



第4図 FAOSTAT データと USDA データの比率

資料: FAOSTAT, USDA "PSD Online".

3) FAOSTAT と USDA の生産量が異なる原因

ミャンマーのコメ生産のデータが、FAOSTAT と USDA で異なる原因を確認しておく。第7表の右3列及び第4図は「FAOSTAT データと USDA データの比」を表すものであり、FAOSTAT データ(ミャンマー政府統計値)が USDA 推計値に対してどれだけ大きいかを表すものである。1961年から1979年までは両データの相違はなかった。第4図に明らかなように1980年から1991年まで生産量の乖離が生じているが、これは単収の違いによるものである。収穫面積の値は両方のデータで、1961年から1991年までは一致していた(最大でも1%の違いしかなかった)。1992年以降は収穫面積の推定値においても乖離が発生し始める。しかしその違いは大きくはなく、最大でも20%(2008年)であり、おおむね10%以内に収まっていた。1989~1991年にはほぼ一致していた生産量値は1992年以降は傾向的に拡大してゆく。特に2004年以降は生産量においてFAOSTATデータはUSDAデータよりも50%以上大きくなっている。両統計の差は単収差による。すなわち2004年以降、単収の推計値は殆どの年においてFAOSTATデータはUSDAデータよりも40~50%大きい。特に2010年にはFAOSTATデータはUSDAデータよりも生産量において89%大きかったが、それを単収要因と面積要因に分解すると単収が66%、収穫面積が14%であった。

(2) コメ生産に関わる投入財

1) 肥料投入

ミャンマー及び東南アジア諸国の農地面積当たり肥料投入を以下に示す。第8表は FAOSTAT の推計値、第9表は USDA の推計値である。ここではミャンマーにおける肥料投入が東南アジアの諸国と比較してどのような状況にあるのか、単収では2000年以降に FAOSTAT の推計値と USDA の推計値が乖離し始めるが(FAOSTAT では上昇、USDA では低下)、単収を決める重要な投入要素である面積当たり肥料投入はどのように変化しているのかについて分析する。

まず、いずれの推計値をみてもミャンマー(及びカンボジア)の農地面積当たり肥料投入 は他の東南アジア諸国と比較して極端に少ないことがわかる。

第8表の FAOSTAT の推計値をみる。ミャンマー(及びカンボジア)の農地面積当たり 肥料投入が他の東南アジア諸国と比較して極端に少ないことは、USDA 推計と同じである。 さらに 2000 年以降の面積当たり肥料投入をみると USDA の推計値と異なり、増加傾向に あることがわかる。(ただし 2004 年は異常値と思われる。)

第9表の USDA の推計値は比較的長期の値が掲載されているが。ミャンマーの農地面積当たり肥料投入は1961年から1985年にかけては増加傾向にあるが、1985年の16kg/haで頭打ちとなり、その後は1992年の6kg/haまで減少する。1992年以降は再度増加しはじめるが、1995年の15kg/haで再度頭打ちとなり、その後は停滞する。そして2000年以降は減少傾向に入る。これは他の東南アジア諸国が着実に面積当たり肥料投入を増加させてきた事実と大きく異なる。ただし、フィリピンとベトナムは2000年以降に減少傾向にあるか停滞している。

第8表 東南アジア諸国の農地面積当たり肥料投入(FAOSTAT)

単位:kg/ha

						- +	= jy. kg/ na
	ミャンマー	カンボジア	インドネシア	マレーシア	フィリピン	タイ	ベトナム
2002	6.3	8.3	110.2	140.7	85.0		54.7
2003	7.7	5.6	128.3	171.6	137.8	234.3	69.4
2004	32.9	7.6	120.7	203.3	198.2	192.8	
2005	4.4	28.7	127.1	382.6	209.5	163.7	
2006	9.9	30.8	131.1	478.4	136.7	161.0	78.5
2007	9.2	10.1	133.4	512.2	163.8	180.3	95.8
2008	8.6		140.5	356.7	128.6	192.0	91.6
2009	12.8	13.0	169.8	211.8	142.0	187.5	515.0
2010	13.4	15.6	160.7	339.3	159.8	247.9	379.7
2011	29.5	22.2	234.5	382.4	150.9	243.9	366.8
2012	30.3	24.9	168.3	378.5	134.2	235.8	354.0

資料: FAOSTAT.

第9表 東南アジア諸国の農地面積当たり肥料投入(USDA)

単位:kg/ ha

						単	单位:kg/ ha
	ミャンマー	カンボジア	インドネシア	マレーシア	フィリピン	タイ	ベトナム
1961	0.61	1.70	6.35	16.88	10.57	1.41	12.69
1962	0.64	0.40	6.86	18.46	11.90	1.71	14.73
1963	0.62	0.54	5.63	19.70	12.15	2.44	22.17
1964	0.76	0.59	5.67	20.08	11.34	3.00	20.01
1965	0.77	0.58	6.21	23.41	14.11	2.32	26.38
1966	1.06	0.60	5.27	26.50	14.54	3.81	15.84
1967	3.32	1.43	3.19	26.31	13.54	6.75	18.23
1968	2.83	1.27	5.73	27.77	20.14	8.46	13.40
1969	2.86	1.84	8.84	35.45	23.90	8.24	35.48
1970	1.95	1.24	9.43	37.70	22.88	7.45	35.47
1971	3.48	1.56	9.51	45.28	23.38	6.26	29.58
1972	4.37	1.28	11.91	44.08	21.90	10.33	26.23
1973	3.65	1.13	16.99	57.64	27.35	8.86	30.58
1974	4.53	0.74	17.64	46.18	29.11	7.81	36.81
1975	4.98	0.05	18.08	47.34	22.55	10.80	39.83
1976	4.45	0.05	17.67	51.95	24.14	10.87	45.38
1977	5.25	0.14	22.57	58.98	24.79	14.93	51.36
1978	7.41	0.40	26.09	70.30	29.25	16.74	43.62
1979	8.44	1.22	28.38	87.97	30.85	15.86	19.98
1980	9.18	3.60	41.63	94.31	27.19	14.58	19.42
1981	11.02	9.16	47.75	77.67	27.11	14.67	22.19
1982	14.96	5.05	51.09	79.16	29.05	13.57	26.93
1983	14.00	2.45	46.96	85.00	29.92	19.80	35.74
1984	16.63	0.74	54.20	105.61	21.91	17.97	34.64
1985	17.26	0.54	58.38	97.74	23.16	17.62	43.46
1986	15.91	0.32	59.60	101.26	31.24	21.51	46.46
1987	10.46	0.14	62.32	109.02	39.46	23.40	37.30
1988	7.54	0.02	66.93	121.29	40.56	28.56	51.73
1989	7.40	0.06	61.09	119.14	42.50	30.00	49.40
1990	6.55	1.16	64.50	116.67	46.96	39.03	48.74
1991	7.24	1.43	61.86	117.00	35.69	35.17	68.07
1992	5.89	2.63	65.16	116.82	40.11	40.95	66.09
1993	7.63	3.67	57.83	121.18	45.55	53.20	63.47
1994	12.21	2.78	61.69	133.69	48.41	49.39	98.46
1995	15.07	2.44	60.55	129.16	49.76	53.28	104.00
1996	13.89	1.96	63.44	134.05	60.38	53.96	120.44
1997	14.27	5.20	51.67	148.38	65.78	52.84	116.49
1998	13.77	2.08	62.07	165.10	50.44	58.68	138.75
1999	12.59	3.00	57.14	155.61	60.53	61.99	146.48
2000	15.50	2.77	56.29	141.68	60.96	54.07	155.09
2001	7.05	2.86	56.43	132.61	65.87	60.08	129.60
2002	9.09	5.80	67.32	142.09	60.34	58.90	143.03
2003	9.31	3.78	66.93	166.16	61.48	61.16	151.99
2004	4.97	5.29	77.16	193.81	62.23	62.18	153.11
2005	3.84	7.76	80.16	185.50	56.87	58.68	119.30
2006	4.01	7.59	77.41	205.75	55.73	54.41	122.64
2007	4.99	8.78	85.00	217.94	58.23	55.93	125.78
2008	3.97	6.90	83.43	164.73	51.67	51.32	112.73
2009	4.04	9.12	89.64	181.48	49.36	51.48	119.89
2010	4.98	11.02	93.53	228.51	46.67	59.95	127.96
2011	5.45	14.40	97.89	244.26	43.32	69.65	133.91

資料: USDA "Economic Research Service".

以上をまとめると、ミャンマーの農地面積当たり肥料投入は、USDA 、FAOSTAT いずれの推計でも他の東南アジア諸国より著しく少ない。2000 年以降の傾向をみると、USDA によるミャンマーの肥料投入量の推計値は減少傾向にあり、同じく USDA が同時期のミャンマーのコメ単収が減少傾向にあるとしていることと整合的である。一方、FAOSTAT によるミャンマーの肥料投入量の推計値は増加傾向にあり、FAOSTAT が同時期のミャンマーのコメ単収が増加傾向にあるとしていることと整合的である。

2) 灌漑

農業・灌漑省のデータによると、ミャンマーの灌漑率は極端に低く、かつ 2000 年以降増加していない。インドネシアのコメ生産の灌漑率は 2010 年において 85%とされており(5)、同じアセアンの国としても低いことがわかる。

第10表 灌漑の状況

f	I		
	播種面積	灌漑面積	灌漑率
	(100万ha)	(100万ha)	(%)
1940	7.11	0.63	8.90
1961	7.16	0.54	7.50
1971	7.96	0.89	11.20
1981	8.41	1.04	12.40
1991	8.34	1.00	12.00
2000	10.48	1.91	18.20
2001	10.65	1.99	18.60
2002	10.82	1.87	17.30
2003	11.04	1.96	17.70
2004	11.41	1.93	16.90
2005	11.94	2.14	17.90
2006	12.61	2.24	17.80
2007	13.22	2.22	16.80
2008	13.49	2.27	16.90
2009	13.64	2.33	17.10
2010	13.75	2.29	16.70
2011	13.58	2.11	15.50
2012	13.30	2.12	15.90

資料: Ministry of Agriculture and Irrigation.

3) 農業部門への融資

第11表にミャンマー農業開発銀行 (MADB) の融資総額と農民一人当たり融資額 (ドル換算) を示す。後者は、融資総額を推定農民人口で除したものである。推定農民人口は「農民人口の総人口に占める比率は対象期間においては一定である」と仮定して計算された値であるため、現実には、時期がさかのぼるほど過小な値となっていると考えられる。従って

農民一人当たり融資額は時期がさかのぼるほど過大推定になっていること考えられるが、 大きな誤差はないものと考えられる。融資額は低利ではあるが非常に少ないこと、2009 年 以降増額される傾向があることが岡本(2014)により指摘されている。

第 11 表 MADB による農業ローン

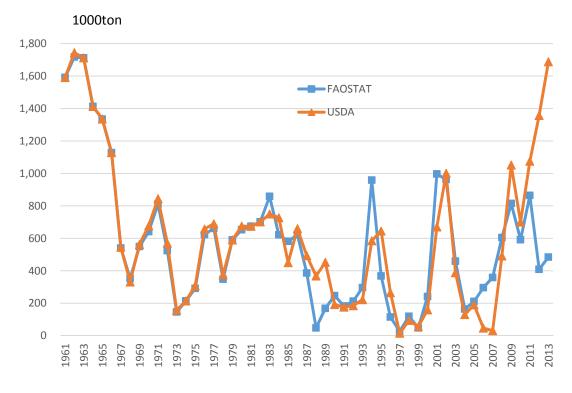
	農業ローン総額	農民一人当たり
	(百万チャット)	(ドル)
1990	1,524	11
1991	1,533	9
1992	1,759	9
1993	2,610	10
1994	2,781	8
1995	9,014	23
1996	9,920	21
1997	10,245	16
1998	10,359	7
1999	11,186	6
2000	12,124	6
2001	12,741	5
2002	12,015	4
2003	20,416	5
2004	27,382	6
2005	34,390	6
2006	44,876	7
2007	59,628	8
2008	68,970	11
2009	93,489	16
2010	190,680	35
2011	352,722	76
2012	557,847	114
2013	862,531	158

資料: Ministry of Agriculture and Irrigation, World Bank.

注. 農民人口は2012年の推定値である5,836,260人を使用. それ以外の年度は、農民人口の総人口に占める比率は変わらないものと仮定して、World Bank の人口推計値を使用して求めた.

(3) ミャンマーのコメ輸出

第 5 図はミャンマーのコメの純輸出量(以下、「輸出量」とする)を示すものであり、 FAOSTAT と USDA の両方の値を掲載している。



第5図 ミャンマーのコメ純輸出

資料: FAOSTAT, USDA PSD online.

1961年から 1982年までは両統計値はほぼ一致している。1961~66年までは 100万トン以上のコメを輸出していた。ところが 1967年以降減少に転じ 1973年には僅か 15万トン程度にまで減少している。その後は年による変動が大きくなっているが,100万トンを超える年は殆どない。近年の動向を見ると,FAOSTATと USDAではそのインプリケーションがかなり異なる。FAOSTATデータでは近年でも過去と同様の変動を繰り返すにとどまっているのに対して,USDAデータでは 2007年を底として回復基調にある。特に 2012年の値は FAOSTATデータでは 41万トンと再度の減少を示しているのに対して,USDAデータでは 136万トンと大きな増加が見られる。両者の推計値は全く異なっており,かつ 1961年以降これほど両統計の値と方向性が異なった年はなく,どちらの値が現実により近いのか非常に興味深い。

ミャンマーのコメ輸出量の推移をアジアのコメ輸出大国であるタイ,ベトナム及びインド並びに重要なコメ輸出国であるアメリカと比較する。上記の国の輸出統計を統計の入手可能な 1961 年から 2012 年年までを第 12 表に示す。各国政府の推計値をそのまま掲載した FAOSTAT データと米国農務省が独自に推計した USDA データの双方を示す。また、両者の比も示しておく。まず両統計の違いについて確認しておく。タイとアメリカについては、FAOSTAT と USDA データに殆ど違いはない。ベトナムとインドについては、1961 年から1983 年頃にかけて違いが大きい。この時期では USDA データが FAOSTAT データよりも

過大に推計する傾向がある。ベトナムは 1988 年以降は両者の統計はほぼ一致するようになっている。インドは 1985 年以降は両者の統計が一致する傾向が多いが,大きく隔たる年もある。 2006 年以降は,2008 年を除き,ほぼ一致している。ミャンマーであるが,1961 年~1982 年は前述したとおり両データがほぼ一致している。その後両データの乖離が大きくなる。 2000 年以降においても(USDA データ/FAOSTAT データ)は $0.09\sim3.32$ の値をとっており,他の 4 ヵ国が両データで一致傾向にあることを考慮するとミャンマーの輸出データはかなり特殊であるといえる。

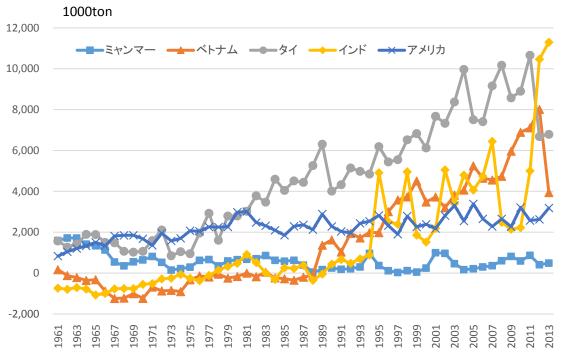
ミャンマーは 1961 年から 1966 年にかけては 100 万トン以上のコメを輸出していた。しかも統計が入手可能な 1961 年から 1963 年の 3 年間は世界一のコメ輸出国であった。しかし 1964 年にはタイに追い越され世界第二位となる。さらに 1965 年にはアメリカにも追い越されることになる。なおこの時点においては、ベトナムとインドはコメの純輸入国であった。 1980 年代末になるとベトナム、インドともにコメの純輸出国に転換する。そして両国とも堅調に輸出を増加させている。ベトナムは 1989 年にミャンマーを完全に抜き去った。インドも 1990 年以降はミャンマーを抜き去っている。ただし 1994 年には一時的に、FAOSTAT データではミャンマーが逆転(第6図参照)、USDA データデータではほぼ一致(第7図参照)している。その後は両者の格差は大きく開いていく。

第12表 主要国のコメの純輸出量

		F/	AOSTATデ-	ータ			U	SDAデータ				USDAデータ	Z/FAOSTA	Tデータ	
	ミャンマー	ベトナム	タイ	インド	アメリカ	ミャンマー	ベトナム	タイ	インド	アメリカ	ミャンマー	ベトナム	タイ	インド	アメリカ
	(1000ton)	(1000ton)	(1000ton)	(1000ton)	(1000ton)	(1000ton)	(1000ton)	(1000ton)	(1000ton)	(1000ton)					
1961	1,591	164	1,572	-737	829	1,591	170	1,576	-384	829	1.00	1.04	1.00	0.52	1.00
1962	1,718	-122	1,269	-795	1,041	1,744	38	1,271	-391	1,040	1.02	-0.31	1.00	0.49	1.00
1963	1,712	-221	1,416	-709	1,197	1,712	320	1,418	-478	1,197	1.00	-1.45	1.00	0.67	1.00
1964	1,413	-360	1,892	-782	1,328	1,413	40	1,896	-630	1,316	1.00	-0.11	1.00	0.81	0.99
1965	1,335	-327	1,885	-1,068	1,500	1,335	-164	1,895	-723	1,519	1.00	0.50	1.01	0.68	1.01
1966	1,128	-882	1,503	-991	1,327	1,128	-436	1,508	-783	1,341	1.00	0.49	1.00	0.79	1.01
1967	540	-1,247	1,482	-776	1,814	546	-772	1,483	-451	1,795	1.01	0.62	1.00	0.58	0.99
1968	352	-1,228	1,067	-754	1,846	331	-701	1,068	-443	1,834	0.94	0.57	1.00	0.59	0.99
1969	549	-1,010	1,022	-761	1,851	562	-880	1,023	-472	1,836	1.02	0.87	1.00	0.62	0.99
1970	641	-1,242	1,062	-553	1,675	677	-1,057	1,064	-310	1,718	1.06	0.85	1.00	0.56	1.03
1971	811	-684	1,586	-516	1,353	844	-597	1,576	-259	1,347	1.04	0.87	0.99	0.50	1.00
1972	524	-877	2,108	-285	1,950	570	-907	2,112	-151	1,934	1.09	1.03	1.00	0.53	0.99
1973	146	-848	846	-246	1,574	157	-760	849	-20	1,566	1.08	0.90	1.00	0.08	0.99
1974	214	-908	1,044	-68	1,699	214	-865	1,046	-15	1,694	1.00	0.95	1.00	0.22	1.00
1975	292	-328	949	-259	2,070	307	-639	933	-163	2,056	1.05	1.95	0.98	0.63	0.99
1976	623	-142	1,960	-373	2,044	657	-803	1,870	-199	2,032	1.05	5.65	0.95	0.53	0.99
1977	661	-193	2,927	-114	2,257	690	-259	2,915	-15	2,261	1.04	1.34	1.00	0.13	1.00
1978	348	-53	1,605	140	2,247	375	-66	1,573	139	2,261	1.08	1.25	0.98	1.00	1.01
1979	590	-245 -168	2,792	326	2,258	590	-247	2,696	337	2,264	1.00	1.01	0.97	1.03	1.00
1980	653	-168	2,794	477	2,977	675	-167	2,681	424	2,974	1.03	0.99	0.96	0.89	1.00
1981 1982	674 701	-3 -180	3,026 3,779	912 516	3,011 2,474	674 701	-25 -135	3,049 3,620	849 491	2,986 2,459	1.00	8.33 0.75	1.01 0.96	0.93 0.95	0.99
1983	858	47	3,779	21	2,474	750	110	3,620	-181	2,439	0.87	2.34	1.06	-8.48	0.99
1984	622	-239	4,597	-305	2,314	727	-239	4,528	-232	2,291	1.17	1.00	0.99	0.76	1.00
1985	582	-239	4,045	259	1,849	450	-239	3,993	234	1,821	0.77	1.00	0.99	0.76	0.98
1986	622	-351	4,512	232	2,290	660	-357	4,334	196	2,301	1.06	1.00	0.96	0.85	1.01
1987	386	-202	4,438	383	2,360	493	3	4,334	381	2,334	1.28	-0.01	0.98	0.83	0.99
1988	48	-108	5,259	-354	2,122	368	86	4,791	-347	2,112	7.70	-0.79	0.91	0.98	1.00
1989	168	1,365	6,308	-47	2,886	452	1,381	6,036	-206	2,843	2.69	1.01	0.96	4.39	0.98
1990	247	1,622	4,010	439	2,282	192	1,670	3,938	442	2,270	0.78	1.03	0.98	1.01	0.99
1991	183	1,027	4,325	666	2,039	176	1,048	3,988	702	2,035	0.96	1.02	0.92	1.05	1.00
1992	212	1,944	5,144	478	1,964	185	1,914	4,876	552	1,935	0.87	0.98	0.95	1.15	0.99
1993	296	1,721	4,980	692	2,433	222	1,592	4,971	633	2,515	0.75	0.92	1.00	0.91	1.03
1994	959	1,983	4,846	884	2.535	585	2.264	4.720	732	2.539	0.61	1.14	0.97	0.83	1.00
1995	368	1,977	6,188	4,913	2,822	645	2,304	5,943	4,162	2,810	1.75	1.17	0.96	0.85	1.00
1996	115	3,003	5,442	2,512	2,322	265	3,039	5,281	3,676	2,346	2.30	1.01	0.97	1.46	1.01
1997	27	3,575	5,552	2,389	1,899	15	3,326	5,216	2,087	1,987	0.56	0.93	0.94	0.87	1.05
1998	119	3,729	6,524	4,956	2,789	94	3,776	6,367	4,654	2,875	0.79	1.01	0.98	0.94	1.03
1999	48	4,503	6,826	1,861	2,258	56	4,495	6,678	2,748	2,286	1.18	1.00	0.98	1.48	1.01
2000	241	3,477	6,128	1,519	2,387	159	3,330	6,549	1,363	2,539	0.66	0.96	1.07	0.90	1.06
2001	997	3,727	7,673	2,194	2,178	670	3,488	7,521	1,936	2,095	0.67	0.94	0.98	0.88	0.96
2002	962	3,201	7,328	5,052	2,811	1,001	3,205	7,230	6,650	2,825	1.04	1.00	0.99	1.32	1.01
2003	459	3,811	8,376	3,402	3,306	388	3,755	7,552	4,421	3,332	0.85	0.99	0.90	1.30	1.01
2004	164	4,063	9,970	4,794	2,546	130	3,995	10,137	3,172	2,613	0.79	0.98	1.02	0.66	1.03
2005	211	5,250	7,506	4,062	3,385	190	4,854	7,274	4,687	3,443	0.90	0.92	0.97	1.15	1.02
2006	296	4,641	7,413	4,739	2,654	47	4,355	7,374	4,531	2,673	0.16	0.94	0.99	0.96	1.01
2007	359	4,556	9,162	6,449	2,278	31	4,072	9,554	6,301	2,330	0.09	0.89	1.04	0.98	1.02
2008	605	4,734	10,173	2,484	2,653	491	4,349	10,003	3,383	2,616	0.81	0.92	0.98	1.36	0.99
2009	815	5,968	8,574	2,148	2,265	1,052	5,450	8,270	2,149	2,335	1.29	0.91	0.96	1.00	1.03
2010	591	6,892	8,900	2,225	3,209	700	6,334	8,747	2,228	3,306	1.18	0.92	0.98	1.00	1.03
2011	864	7,110	10,661	5,003	2,568	1,075	6,500	10,447	4,637	2,625	1.24	0.91	0.98	0.93	1.02
2012	409	8,013	6,679	10,470	2,627	1,357	7,617	6,345	10,250	2,658	3.32	0.95	0.95	0.98	1.01
2013	464 STAT, US	3,939 DA "PSD	6,788 online".	11,300	3,184	1,688	6,325	10,969	10,149	3,005	3.49	1.61	1.62	0.90	0.94

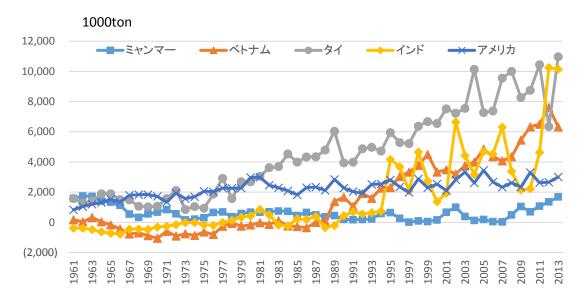
資料: FAOSTAT, USDA "PSD online".

上に記述した内容を視覚的に簡明にするために、第 6 図と第 7 図を掲載した。両方の図から共通していえることはミャンマーのコメ輸出の長期低迷、タイの輸出の長期的な成長アメリカの堅実な輸出の継続、そしてベトナムとインドのコメの純輸入国から世界屈指の輸出国への成長である。両図から主要 5 ヵ国のうちでミャンマーのみが取り残された形になっていることがうかがえる。



第6図 主要国のコメ純輸出 (FAOSTAT)

資料:FAOSTAT.



第7図 主要国のコメ純輸出(USDA)

資料: USDA PSD online.

これまでは FAOSTAT データ(ミャンマー政府公開データ)と USDA データにより統計 比較を行ってきた。ところがミャンマー政府により刊行されている Selected Monthly Economic Indicators (以下 SMEI と略称)の値が近年,FAOSTAT のデータと食い違うようになってきている。コメの輸出データについては,2010 年と 2011 年は既存の政府データと SMEI の値はほぼ一致していたが,2012 年の値は大きく違っている。既存データは 45.5 万トンであったのが,SMEI では 140 万トンとほぼ 3 倍の値である。2012 年~2014 年の値は SMEI の値は USDA データと近い値である。そして SMEI データによると,ミャンマーのコメ輸出量は大きく回復している⑥。

第13表 ミャンマーの精米輸出

単位: 1000ton

	1 = 1 + 0 + 0 + 0 + 1								
	FAOSTAT	USDA	SMEI						
2010	593	700	536						
2011	867	1,075	707						
2012	455	1,357	1,397						
2013	484	1,163	1,192						
2014	n.a.	1,688	1,823						

資料: FAOSTAT, USDA "PSD Online",
Ministry of National Planning
and Economic Development
"Selected Monthly Economic
Indicator".

第 14 表に 2013 年におけるミャンマーの米輸出相手国を示す。ただし、同統計は輸出相手国別の月次統計を 12 ヶ月にわたり積み上げたものであり、SMEI の 2013 年の輸出量とは一致していない $^{(7)}$ 。輸出相手国としては中国が最大であり、81 万トン、62%を占めている。すなわち、ミャンマーの米輸出は復活しつつあるといえるが $^{(8)}$ 、その主要な要因の1つは中国の需要である $^{(9)}$ 。また、民政移管後の輸出振興も大きいと考えられる $^{(10)}$ 。

第 14 表 ミャンマーの米輸出相手国 (2013年)

	輸出量	比率
	(1000ton)	(%)
中国	809	62
インド シンガポール	248	19
シンガポール	70	5
ロシア	26	2
タイ	25	<u>2</u> 2
インドネシア ベトナム	23	2
ベトナム	19	1
ベルギー	19	1
バングラデシュ	17	1
その他	41	3
合計	1,298	100

資料: Ministry of National Planning and Economic Development "Selected Monthly Economic Indicator".

(4) コメ消費

FAOSTAT データと USDA データの両方を使用して、ミャンマーの一人当たりコメ消費量を求める(第 15 表)。FAOSTAT データでは籾米生産量のデータが公開されているため、それに USDA が公開している換算率を乗じて精米生産量を求めた。さらに精米生産量から純輸出量を控除することにより、消費量を求めた。その値を人口(11)で除することにより 1 人当たりコメ消費量を求めた。USDA データでは消費量データが掲載されているので、それを人口で除することにより 1 人当たりコメ消費量を求めた。なお USDA データにおいては、消費量=(期首在庫—期末在庫)+精米生産量—純輸出量、の関係が成立している。

FAOSTAT データの 1 人当たりコメ消費量は USDA データと較べると大きく,特に 2005年以降は 300kg を超えている。2007年~2010年は 400kg 近い値が出ている。これはいかにも過大だと考えられる。USDA データはより現実的な値となっている。殆どの年で 160~210kg となっていること,年とともに 1 人当たりコメ消費量は増加しておりミャンマーの国民 1 人当たり GDP を考慮すると妥当な値だと考えられる。

第15表 ミャンマーのコメ需要(精米)

単位:1000ton, kg/ 人

FAOSTATF―タ				単位: 1000ton, kg/ 人					
1961 2,680 122 2,310 105 1962 3,073 377 3,079 137 1963 3,152 137 3,456 151 1964 3,904 166 3,983 170 1965 3,699 154 4,033 168 1966 3,020 123 3,382 137 1967 4,316 171 4,633 184 1968 4,663 180 4,563 176 1969 4,441 168 4,314 163 1970 4,460 164 4,268 157 1971 4,299 154 4,550 163 1973 5,230 179 5,161 177 1974 5,150 172 5,058 169 1976 5,202 166 5,135 164 1977 5,252 163 5,538 172 1978 6,232 189 5,991 182 1979 7,670 222 6,001 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,288 220 6,625 175 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,000 169 1983 8,116 196 7,050 170 1980 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 196 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 190 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 350 9,000 200 2001 17,15 240 9,900 200 2001 17,15 240 9,900 200 2001 17,15 240 9,900 200 2001 17,15 240 9,900 200 2001 17,15 240 9,900 200 2001 17,15 240 9,900 200 2001 17,15 240 9,900 200 2001 17,15 240 9,900 200 2001 17,15 240 9,900 200 2001 17,15 240 9,900 200 2001 17,16 240 9,900 200 2001 17,170 389 10,750 211 2008 20,242 336 10,800 211 2009 20,102 390 10,100 194 2011 17,002 338 10,200 197 2013 17,947 337 10,450 196									
1961		消費量	1人当たり消費量		1人当たり消費量				
1962 3,073 137 3,079 137 1963 3,152 137 3,456 151 1964 3,904 166 3,983 170 1965 3,699 154 4,033 168 1966 3,020 123 3,382 137 1967 4,316 171 4,633 184 1968 4,663 180 4,563 176 1969 4,441 168 4,314 163 1970 4,460 164 4,268 157 1971 4,299 154 4,550 163 1972 4,074 143 4,451 156 1973 5,230 179 5,161 177 1974 5,150 172 5,058 169 1975 5,463 178 5,099 166 1976 5,202 166 5,135 164 1977 5,252 163 5,538 172 1978 6,232 189 5,991 182 1979 5,940 176 5,856 174 1981 8,288 220 6,625 175 1983 8,282 229 6,100 169 1983 8,282 229 6,100 169 1983 8,282 229 6,600 165 1986 7,857 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,854 200 6,480 165 1988 7,854 200 6,480 165 1999 1662 1988 7,854 200 6,480 165 1999 1,822 1999 1,822 1999 1,822 1999 1,823 1999 1,824 1999 1,825 1,835 1,835 1,930 1,990 1,990 1,227 2,228 8,500 1,991 1,991 1,747 1,715 1,240 1,990 1,227 1,228 1,350 1,990 1,227 1,228 1,300 1,200 1		(1000ton)		(1000ton)	(kg/ 人)				
1963 3,152 137 3,456 151 1964 3,904 166 3,933 170 1965 3,699 154 4,033 168 1966 3,020 123 3,382 137 1967 4,316 171 4,633 184 1968 4,663 180 4,563 176 1969 4,441 168 4,314 163 1970 4,460 164 4,268 157 1971 4,299 154 4,550 163 1972 4,074 143 4,451 156 1973 5,230 179 5,161 177 1974 5,150 172 5,058 169 1975 5,463 178 5,099 166 1976 5,202 166 5,135 164 1977 5,252 163 5,538 172 1978 6,232 189 5,991 182 1979 5,940 176 5,856 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1988 7,852 193 6,725 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 195 1993 9,427 214 8,350 190 1994 1,625 243 9,500 198 1999 1,625 243 9,500 198 1999 1,625 243 9,500 198 1999 1,625 243 9,500 198 1999 1,625 243 9,500 198 1999 1,625 243 9,500 198 1999 1,625 243 9,500 198 1999 1,625 243 9,500 198 1990 1,685 237 10,100 205 2001 11,715 240 9,900 200 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2013 17,947 337 10,450 196	1961	2,680	122	2,310	105				
1964 3,904 166 3,983 170 1965 3,699 154 4,033 168 1966 3,020 123 3,382 137 1967 4,316 171 4,633 184 1968 4,663 180 4,563 176 1969 4,441 168 4,314 163 1970 4,460 164 4,268 157 1971 4,299 154 4,550 163 1972 4,074 143 4,451 156 1973 5,230 179 5,161 177 1974 5,150 172 5,058 169 1975 5,463 178 5,099 166 1976 5,202 166 5,135 164 1977 5,252 163 5,538 172 1978 6,232 189 5,991 182 1979 5,940 176 5,856 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,854 200 6,480 165 1989 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 199 1992 8,395 193 8,050 198 1999 11,625 243 9,500 198 1999 11,625 243 9,500 198 1999 11,625 243 9,500 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,300 207 2001 17,702 338 10,200 194 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 197 2013 17,947 337 10,450 196	1962		137	3,079					
1965 3,699 154 4,033 168 1966 3,020 123 3,382 137 1967 4,316 1771 4,633 184 1968 4,663 180 4,563 176 1969 4,441 168 4,314 163 1970 4,460 164 4,268 157 1971 4,299 154 4,550 163 1972 4,074 143 4,451 156 1973 5,230 179 5,161 177 1974 5,150 172 5,058 169 1975 5,463 178 5,099 166 1976 5,202 166 5,135 164 1977 5,252 163 5,538 172 1978 6,232 189 5,991 182 1979 5,940 176 5,856 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 179 1990 7,857 187 7,350 179 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 199 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 1999 11,625 243 9,500 198 1999 11,625 243 9,500 198 1999 11,625 243 9,500 198 1999 11,625 243 9,500 198 1999 11,625 243 9,500 198 1999 11,625 243 9,500 198 1999 11,625 243 9,500 198 1990 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,100 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,100 194 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196	1963	3,152	137	3,456	151				
1966 3,020 123 3,382 137 1967 4,316 171 4,633 184 1968 4,663 180 4,563 176 1969 4,441 168 4,314 163 1970 4,460 164 4,268 157 1971 4,299 154 4,550 163 1972 4,074 143 4,451 156 1973 5,230 179 5,161 177 1974 5,150 172 5,058 169 1975 5,463 178 5,099 166 1976 5,202 166 5,135 164 1977 5,252 163 5,538 172 1978 6,232 189 5,991 182 1979 5,940 176 5,856 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,854 200 6,480 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 3,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1998 9,786 207 9,350 198 1998 9,786 207 9,350 198 1998 9,786 207 9,350 198 1998 9,786 207 9,350 198 1998 9,786 207 9,350 198 1998 9,786 207 9,350 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 1999 10,139 220 9,050 197 1990 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196	1964	3,904	166	3,983	170				
1967	1965	3,699	154	4,033	168				
1968	1966	3,020	123	3,382	137				
1969	1967	4,316	171	4,633	184				
1969									
1970	1969			4.314	163				
1971 4,299 154 4,550 163 1972 4,074 143 4,451 156 1973 5,230 179 5,161 177 1974 5,150 172 5,058 169 1975 5,463 178 5,099 166 1976 5,202 166 5,135 164 1977 5,252 163 5,538 172 1978 6,232 189 5,991 182 1979 5,940 176 5,856 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>									
1972 4,074 143 4,451 156 1973 5,230 179 5,161 177 1974 5,150 172 5,058 169 1975 5,463 178 5,099 166 1976 5,202 166 5,135 164 1977 5,252 163 5,538 172 1978 6,232 189 5,991 182 1979 5,940 176 5,856 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>									
1973 5,230 179 5,161 177 1974 5,150 172 5,058 169 1975 5,463 178 5,099 166 1976 5,202 166 5,135 164 1977 5,252 163 5,538 172 1978 6,232 189 5,991 182 1979 5,940 176 5,856 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 3,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>									
1974 5,150 172 5,058 169 1975 5,463 178 5,099 166 1976 5,202 166 5,135 164 1977 5,252 163 5,538 172 1978 6,232 189 5,991 182 1979 5,940 176 5,856 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>									
1975 5,463 178 5,099 166 1976 5,202 166 5,135 164 1977 5,252 163 5,538 172 1978 6,232 189 5,991 182 1979 5,940 176 5,856 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>									
1976 5,202 166 5,135 164 1977 5,252 163 5,538 172 1978 6,232 189 5,991 182 1979 5,940 176 5,856 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>									
1977 5,252 163 5,538 172 1978 6,232 189 5,991 182 1979 5,940 176 5,856 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>									
1978 6,232 189 5,991 182 1979 5,940 176 5,856 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>									
1979 5,940 176 5,856 174 1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>									
1980 7,670 222 6,001 174 1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 195 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>									
1981 8,168 231 6,024 171 1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 <									
1982 8,282 229 6,100 169 1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 185 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 <									
1983 8,072 218 6,473 175 1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 185 1993 9,427 214 8,350 194 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 <									
1984 8,288 220 6,625 175 1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500									
1985 8,295 215 6,270 163 1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700									
1986 7,854 200 6,480 165 1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900									
1987 7,797 195 6,600 165 1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100	1985	8,295	215	6,270	163				
1988 7,852 193 6,725 165 1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200	1986	7,854	200	6,480	165				
1989 8,116 196 7,050 170 1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300	1987	7,797	195	6,600	165				
1990 7,857 187 7,350 174 1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 <td>1988</td> <td>7,852</td> <td>193</td> <td>6,725</td> <td>165</td>	1988	7,852	193	6,725	165				
1991 7,475 175 7,650 179 1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 </td <td>1989</td> <td>8,116</td> <td>196</td> <td>7,050</td> <td>170</td>	1989	8,116	196	7,050	170				
1992 8,395 193 8,050 185 1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750	1990	7,857	187	7,350	174				
1993 9,427 214 8,350 190 1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,8	1991	7,475	175	7,650	179				
1994 9,597 215 8,650 194 1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,890 211 2010 20,260 390 10	1992	8,395	193	8,050	185				
1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390	1993	9,427	214	8,350	190				
1995 10,047 222 8,850 195 1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390	1994	9,597	215	8,650	194				
1996 10,139 220 9,050 197 1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,890 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>									
1997 9,631 206 9,250 198 1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,890 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>									
1998 9,786 207 9,350 198 1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337									
1999 11,625 243 9,500 198 2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196									
2000 12,127 250 9,700 200 2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196									
2001 11,715 240 9,900 202 2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196									
2002 11,685 237 10,100 205 2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196									
2003 12,966 262 10,200 206 2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196									
2004 14,300 287 10,300 207 2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196									
2005 15,845 316 10,400 207 2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196		44000	203						
2006 17,640 349 10,670 211 2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196									
2007 19,770 389 10,750 211 2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196									
2008 20,242 396 10,800 211 2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196									
2009 20,102 390 10,890 211 2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196									
2010 20,260 390 10,100 194 2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196									
2011 17,702 338 10,200 195 2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196									
2012 17,562 333 10,400 197 2013 17,947 337 10,450 196									
2013 17,947 337 10,450 196									
		17,562							
資料:FAOSTAT, USDA "PSD online", World Bank.	2013	17,947			196				

 資料: FAOSTAT, USDA "PSD online", World Bank.
 注: 1 人当たり消費量は、消費量を人口で除して求めた. 消費量データについては、FAOSTATでは精米生産量から、 純輸出量を控除して求めた. なお精米換算率はUSDAの公表値を使用した. USDAでは消費量データが存在するので 使用した.

3. 豆類

(1) 世界の乾燥豆輸出とミャンマー

世界の乾燥豆輸出国上位 10 カ国の動向とミャンマーの位置づけを第 16 表により確認する。なお、乾燥豆については FAOSTAT の値をそのまま使用する。ミャンマーは 1980 年頃から世界でのシェアを拡大しており、2013 年には世界第 1 位かつ 34%のシェアを占める輸出大国となっている。

第 16 表 世界の乾燥豆輸出上位 10 ヵ国の輸出量及びシェア

単位:ton, %

輸出量										·	<u>- pz resm</u> , 76
19	61年	197	'0年	1980年		19	90年	20	00年	2013年	
アメリカ	13,689	アメリカ	38,363	アメリカ	390,151	アメリカ	295,520	ミャンマー	255,332	ミャンマー	1,370,000
ミャンマー	7,000	タイ	12,869	アルゼンチ	75,090	中国	200,346	中国	197,744	中国	799,918
ブルガリア	6,286	オランダ	6,841	タイ	72,225	アルゼンチ	116,799	アメリカ	190,851	アメリカ	453,247
オランダ	4,263	ブルガリア	6,600	チリ	32,632	ミャンマー	86,821	アルゼンチ	103,812	カナダ	294,371
トルコ	3,939	ミャンマー	4,940	カナダ	30,265	タイ	67,815	カナダ	103,467	エチオピア	225,058
チリ	3,900	アメリカ	4,403	オランダ	26,224	カナダ	51,377	オランダ	31,444	アルゼンチ	104,114
タイ	3,447	カナダ	4,105	ミャンマー	20,113	チリ	44,282	オーストラル	27,131	エジプト	69,597
マダガスカ	3,067	アルゼンチ	3,894	中国	18,000	オランダ	37,562	エジプト	19,893	オーストラ	63,251
ホンコン	3,018	マダガスカ	3,719	タンザニア	15,833	トルコ	21,102	フランス	9,838	ニカラグア	55,646
日本	2,506	ホンデュラス	3,269	台湾	11,087	ホンコン	17,193	パキスタン	9,638	ケニア	43,313
その他	21,075	その他	31,886	その他	68,432	その他	135,459	その他	164,464	その他	535,558
世界合計	72,190	世界合計	120,889	世界合計	760,052	世界合計	1,074,276	世界合計	1,113,614	世界合計	4,014,073

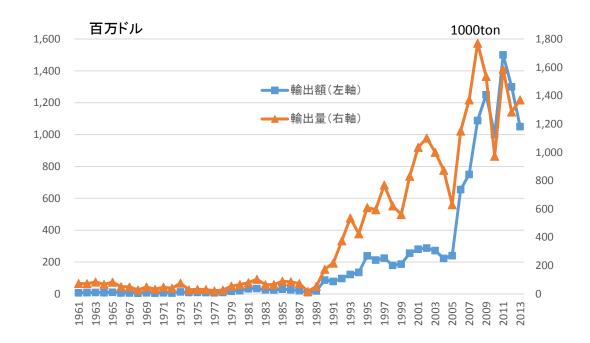
+#	#	LL
小 面	עמ	FF.

1477020											
	1961年	1970	年	198	0年	199	0年	2000	0年	2	013年
アメリカ	19.0	アメリカ	31.7	アメリカ	51.3	アメリカ	27.5	ミャンマー	22.9	ミャンマー	34.1
ミャンマー	9.7	タイ	10.6	アルゼンチ	9.9	中国	18.6	中国	17.8	中国	19.9
ブルガリフ	P 8.7	オランダ	5.7	タイ	9.5	アルゼンチ	10.9	アメリカ	17.1	アメリカ	11.3
オランダ	5.9	ブルガリア	5.5	チリ	4.3	ミャンマー	8.1	アルゼンチ	9.3	カナダ	7.3
トルコ	5.5	ミャンマー	4.1	カナダ	4.0	タイ	6.3	カナダ	9.3	エチオピア	5.6
チリ	5.4	アメリカ	3.6	オランダ	3.5	カナダ	4.8	オランダ	2.8	アルゼンチ	2.6
タイ	4.8	カナダ	3.4	ミャンマー	2.6	チリ	4.1	オーストラル	2.4	エジプト	1.7
マダガス	カ. 4.2	アルゼンチ	3.2	中国	2.4	オランダ	3.5	エジプト	1.8	オーストラル	1.6
ホンコン	4.2	マダガスカ	3.1	タンザニア	2.1	トルコ	2.0	フランス	0.9	ニカラグア	1.4
日本	3.5	ホンデュラス	2.7	台湾	1.5	ホンコン	1.6	パキスタン	0.9	ケニア	1.1
その他	29.2	その他	26.4	その他	9.0	その他	12.6	その他	14.8	その他	13.3
世界合計	100.0	世界合計	100.0	世界合計	100.0	世界合計	100.0	世界合計	100.0	世界合計	100.0

資料:FAOSTAT.

(2) ミャンマーの乾燥豆輸出

ミャンマーの乾燥豆輸出は1987年以降,量においても金額においても急拡大しているのがわかる。



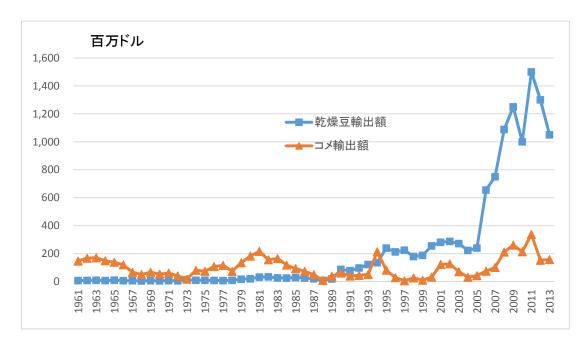
第8図 乾燥豆の輸出額と輸出量の推移

資料: FAOSTAT.

第9図は乾燥豆とコメの輸出額を同じグラフ上で見たものである。コメの低迷に対して, 乾燥豆の急拡大がわかる。とくに乾燥豆輸出額は 1988 年頃から増加傾向が見え始め⁽¹²⁾, 2005年以降に急拡大している。

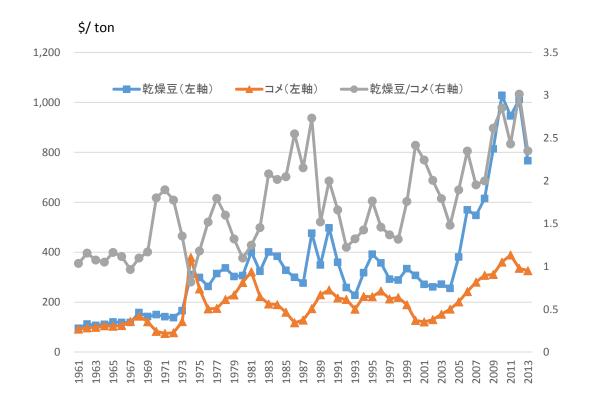
第 10 図はコメと乾燥豆の輸出価格を示すものである。2004 年以降に乾燥豆の価格はコメの価格と大きく乖離をはじめている。

つぎに、コメ、乾燥豆、その他豆類の生産量と生産額の動向をみる。輸出のみならず生産 においても、乾燥豆とキマメが生産量、生産額ともに急拡大していることが確認できる。



第9図 乾燥豆とコメの輸出額

資料:FAOSTAT.



第10図 乾燥豆とコメの輸出価格及び価格比

資料:FAOSTAT.

第17表 コメ及び豆類の生産量の推移

単位: 1000ton

							平 四	. TOOOLON
	コメ	乾燥豆	エンドウ豆	ひよこ豆	ササゲ	キマメ	レンズ豆	大豆
1991	13,204	352	14	102	15	42	0	26
1992	14,840	485	15	110	19	62	1	27
1993	16,763	578	20	99	20	137	1	30
1994	18,199	591	21	59	22	140	1	34
1995	17,957	753	25	76	35	143	1	50
1996	17,680	967	24	91	48	142	1	66
1997	16,651	937	24	89	60	187	1	62
1998	17,078	1,078	27	89	59	173	1	75
1999	20,126	1,235	26	68	55	157	1	84
2000	21,324	1,285	28	84	77	182	2	97
2001	21,916	1,436	30	117	105	315	2	109
2002	21,805	1,601	33	191	104	459	2	119
2003	23,146	1,818	38	209	123	435	1	122
2004	24,939	1,863	44	224	129	477	1	147
2005	27,683	2,175	43	235	130	547	1	165
2006	30,924	2,502	45	260	149	600	1	186
2007	31,451	2,814	56	330	150	645	2	201
2008	32,573	3,218	60	348	176	719	2	214
2009	32,682	3,375	58	404	213	765	1	244
2010	32,580	3,530	61	441	215	773	2	258
2011	29,010	3,750	65	473	173	849	1	237
2012	28,080	3,650	66	500	180	820	2	205
2013	26,372	3,700	68	490	115	579	1	161
Yet you Did	O M A M							

資料: FAOSTAT.

第18表 コメ及び豆類の生産額の推移

単位:百万チャット

	コメ	乾燥豆	エンドウ豆	ひよこ豆	ササゲ	キマメ	レンズ豆	大豆
1991	31,650	2,969	90	1,289	124	657	7	211
1992	62,448	5,018	184	1,129	185	1,317	12	307
1993	145,035	7,078	260	1,047	208	2,707	24	453
1994	208,978	12,387	584	1,923	527	4,063	42	995
1995	184,292	19,051	791	2,828	966	4,900	73	1,450
1996	263,341	37,180	1,069	4,201	1,688	6,363	36	2,576
1997	381,467	56,459	1,516	6,640	2,575	14,735	57	3,584
1998	388,774	77,045	2,181	9,350	3,360	18,011	56	5,357
1999	647,233	107,353	3,116	9,058	4,525	20,724	81	8,405
2000	541,648	120,844	3,081	9,829	7,663	17,554	198	10,098
2001	1,628,052	206,491	5,362	21,495	19,049	40,992	412	15,520
2002	2,246,831	332,898	7,361	36,539	21,495	100,489	286	27,328
2003	2,215,306	332,600	8,583	44,634	24,480	109,887	230	28,017
2004	2,282,916	405,726	11,623	54,287	29,941	115,093	348	33,758
2005	3,051,525	625,491	14,151	85,294	37,304	144,879	382	42,035
2006	5,376,261	982,465	16,887	108,535	70,119	174,533	367	76,545
2007	5,660,048	1,232,358	24,713	146,163	75,065	288,347	714	91,124
2008	5,698,057	1,904,071	37,977	165,403	61,616	303,596	949	87,616
2009	5,876,118	2,361,639	39,928	249,483	84,437	537,082	900	62,209
2010	6,370,625	2,466,185	42,396	260,964	144,032	539,695	1,072	111,936
2011	5,376,694	2,623,688	44,531	279,648	120,938	592,198	881	108,075
2012	5,383,104	1,761,556	37,877	316,923	86,036	437,887	965	73,160
2013	5,873,272	2,196,154	35,168	235,811	77,198	373,708	990	72,058

資料:FAOSTAT.

つぎにミャンマー政府の豆類に関する統計を見る。FAOSTATでは乾燥豆とひとくくりにされていたが、豆類は17種類存在する。なお、着色したラインの部分は、FAOSTATにおいて乾燥豆とは別に表示されていた豆である。ミャンマーの場合、乾燥豆といってもブラックグラム(ケツルアズキ)とグリーングラム(緑豆)がその大部分を占めていることがわかる。両者ともに、主として収穫面積の拡大により生産を拡大してきたことがみてとれる。

第 19 表 豆類の生産量の推移 (Myanmar 統計)

														単位:	1000ton
			1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
Matpe	(Black gram)	ブラックグラム	99	365	523	626	654	728	899	1,005	1,182	1,359	1,423	1,485	1,578
Pedisein	(Green gram)	グリーングラム	62	332	511	569	607	662	778	930	1,038	1,178	1,220	1,315	1,338
Butter bea	an	バタービーン	46	34	49	50	52	57	57	62	70	73	78	77	83
Bocate	(Cow pea)	ササゲ	28	63	100	113	239	128	137	154	163	201	209	211	215
Sultani			4	5	9	9	9	10	11	12	13	13	14	15	16
Sultapya			29	29	56	49	57	66	71	90	95	103	108	109	116
Pelun			14	48	103	102	105	122	130	149	150	176	188	186	191
Pesingon	(Pigeon pea)	キマメ	42	142	315	459	435	478	547	600	645	719	765	761	824
Peyin	(Rice bean)	米豆	6	8	26	26	29	29	31	33	36	42	49	52	54
Pebyugale	(Duffin bean)	ダフィン豆	1	2	5	5	6	7	7	8	9	9	10	11	11
Pegyi	(lablab bean)	フジマメ豆	40	45	63	62	68	75	79	91	93	109	124	127	132
Pegya	(Lima bean)	リマ豆	6	6	9	10	10	11	11	12	14	14	15	15	16
Sadawape	(Garden pea)	ガーデンエンドウ	14	24	31	33	38	44	43	45	56	60	58	61	67
Peyazar	(Lentil bean)	レンズ豆	0	1	2	1	1	1	1	1	2	2	1	2	1
Penauk	(Krishna mung)クリシュナ緑豆	25	55	85	82	86	89	95	106	102	116	124	128	131
Gram	(Chick pea)	ひよこエンドウ豆	102	91	117	191	209	224	235	260	330	348	398	434	459
Peboke	(Sov bean)	大豆	25	65	109	119	122	147	158	186	201	214	240	254	255

資料: Ministry of National Planning and Economic Development, "Statistical Yearbook".

第20表 豆類の収穫面積(Myanmar統計)

単位:1000ha <u>1990 | 1995 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 </u> 2009 2010 (Black gram) Matpe 1.023 1.055 ングラム (Green gram) 1,038 Pedisein 1,006 1,066 1,076 1,121 Butter bear バタービ Bocate ササゲ Sultani Sultapya Pelun キマメ Pesingon (Pigeon pea) Peyin (Rice bean) 米豆 Pebyugal (Duffin bean) フジマメ豆 リマ豆 Pegyi (lablab bean) Pegya (Lima bean) (Garden pea) Sadawape (Lentil bean) レンズ豆 Penauk (Krishna mung) クリシュナ緑豆 ひよこエンドウ豆 (Chick pea) (Soy bean)

資料: Ministry of National Planning and Economic Development, "Statistical Yearbook".

第21表 豆類の単収(Myanmar 統計)

単位: ton/ ha 1990 1995 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 Matpe (Black gram) ブラックグラム 0.72 0.77 0.86 0.87 0.87 1 00 1.15 123 1 32 1 39 1 44 1 45 1.50 グリーングラム バタービーン 0.86 Pedisein (Green gram) 0.57 0.73 0.72 0.7 0.79 0.95 0.98 1.03 1.10 1.17 1.22 1.19 Butter bean 1.04 0.83 0.96 0.99 1.05 1.07 1.07 1.08 1.07 1.11 1.20 1.26 Bocate 0.70 0.74 0.91 0.82 1.86 0.87 0.92 0.97 1.02 1.11 1.14 1 17 1.19 Sultani 0.76 0.67 0.83 0.93 0.93 0.97 1 03 102 1 07 1 10 1 16 1 20 1.18 1.14 1.16 Sultapya 0.65 0.62 0.8 0.86 0.96 1.00 1.07 1.07 Pelun 0.49 0.81 0.99 Pesingon (Pigeon pea) キマメ 0.61 0.59 0.88 0.95 0.85 0.91 0.99 1.12 1.14 1.22 1.23 1.30 Peyin (Rice bean) 米豆 0.62 0.60 0.73 0.76 0.82 0.84 0.87 0.88 0.90 0.94 1 02 1.05 1 04 <u> ダフィン豆</u> 0.59 0.6 0.60 0.73 0.79 0.86 0.98 Pebyugale 0.58 0.66 0.85 0.90 0.96 (Duffin bean) 0.73 Pegyi 0.56 0.61 0.83 0.91 (Lima bean) リマ豆 0.53 0.53 0.72 0.70 0.71 0.73 0.76 0.76 0.81 0.85 0.87 0.90 0.94 Pegya Sadawape (Garden pea) 0.53 0.66 0.7 0.78 0.92 0.95 0.96 1.02 1.06 1.19 レンズ豆 0.25 0.39 0.52 0.49 0.49 0.45 0.54 0.59 0.60 0.74 0.69 0.70 0.86 Peyazar (Lentil bean) (Krishna mung) クリシュナ緑豆 0.35 0.49 0.65 0.68 Penauk (Chick pea) 0.64 0.58 0.71 0.98 1.09 1.15 1.23 1.39 Peboke 0.90 1.09 (Soy bean) 0.80 0.95 1.01 1.05 1.08

資料: Ministry of National Planning and Economic Development, "Statistical Yearbook".

ブラックグラムとグリーングラムの近年の輸出動向をみると,ブラックグラムが量,金額ともに多いが,グリーングラムはその伸び率においてはブラックグラムをしのいでいる。

第22表 ブラックグラムとグリーングラムの近年の輸出

単位:百万ドル、千トン

			平位.日7	<u> </u>		
	ブラック	グラム	グリーングラム			
	叫用	価額	旱	価額		
2010	457	451	166	181		
2011	598	472	229	202		
2012	658	383	380	274		
2013	644	376	340	310		
2014	626	470	378	369		

資料: Ministry of National Planning and Economic

Development "Selected Monthly Economic Indicator".

ブラックグラムの 2013 年における主要輸出相手国は圧倒的にインドであるが, グリーングラムは中国, 続いてインドとなっている。

第23表 ブラックグラムとグリーングラムの輸出相手国(2013年)

単位:百万ドル, 千トン, %

ブラッ	クグラム			グリーングラム				
国名	量	偛	額	国名	量	但	Б額	
		額	比率			額	比率	
インド	479.8	281.5	76.5	中国	103.2	89.7	30.5	
シンガポール	35.2	21.9	6.0	インド	77.1	67.5	23.0	
中国	20.1	11.6	3.1	シンガポール	45.0	40.1	13.6	
ベトナム	17.2	10.1	2.7	ベトナム	44.7	37.4	12.7	
アラブ首長国連邦	14.9	8.6	2.3	インドネシア	24.4	21.8	7.4	
マレーシア	12.8	7.9	2.1	タイ	10.6	9.6	3.3	
タイ	11.7	7.8	2.1	マレーシア	10.4	9.5	3.2	
パキスタン	11.2	6.6	1.8		9.6	9.0	3.1	
日本	4.9	3.5	1.0	アラブ首長国連邦	2.6	2.1	0.7	
インドネシア	2.8	1.6	0.4	日本	1.9	1.9	0.6	
その他	10.3	7.0	1.9	その他	5.9	5.4	1.8	
合計	620.8	368.0	100.0	合計	335.4	294.1	100.0	

資料: Ministry of National Planning and Economic Development "Selected Monthly Economic Indicator".

おわりに

ミャンマーのコメ生産はこの30年間にわたり世界第7位の座をキープしてきたが、コメ

輸出は絶対的にも相対的にも減少してきた。しかしながら最近の動向としては、FAOSTAT を見る限りは長期低迷を抜け出せないでいるが、USDA のデータでは回復基調が見られる。 さらにミャンマー政府により刊行される Selected Monthly Economic Indicators の値は、2012 年以降は、USDA の推計値とかなり近い値をとるようになっている。そしてその近年の数値は(FAOSTAT の値とは異なり)コメ輸出の端的な回復を示唆しているのである。

低迷していたコメ輸出とは対照的に,コメの裏作として始まった乾燥豆の輸出は顕著に 増加している。

注

(1) 1962 年にネーウィンが軍事クーデターで政権を獲得し、「ビルマ社会主義」と呼ばれる計画経済体制が 1987 年まで続いた。その農業政策の根幹は農地の国有化、供出制度及び計画栽培制度であった(栗田、岡本、黒崎、藤田

(2004))。特にコメの供出制度は、消費者(コメ生産農家を除く)へのコメ配給制度、コメの国内流通及び輸出の政府による管理とセットになっていた。上記の政策は 1988 年のクーデターにより成立した軍事政権によっても継続された。ただし農家当たりの供出量は社会主義期の $1.5\sim2.1$ トン/へクタールから, $0.5\sim0.6$ トン/ヘクタールへと削減された。しかし、供出価格は市場価格よりも $40\sim60\%$ に抑制された点は社会主義期と同じであった(岡本(2005))。供出制度は 2003 年には撤廃される。かかる低価格での供出制度が米作農民の生産意欲を損なったことは多くの研究者により指摘されている。

- $^{(2)}$ ミャンマー農業の主要作物の播種面積はミャンマー国の農業灌漑省が公表しているが、最新の値は 2012 年に関するものである。
- (3) 例えば, 室屋 (2012)。
- (4) 例えば、岡本 (2006)。
- (5) M.Donny Azdan 他 "Irrigation development in Indonesia", Revitalizing Irrigation and Agricultural Water Governance in Asia Workshop 2012、による。
- (6) ミャンマー政府はコメ輸出量を 2014-2015 年までに 250 万トン, 2019-2020 年までに 480 万トンまで押し上げる計画を明かした。商務省貿易振興部の Toe Aung Myint 氏は経済・金融情報サービス会社「ブルームバーグ」のインタビューに対し,成長計画立案の理由を「中国を先頭に興る世界的なコメ需要増加」を挙げた。(Myanmar Business Today 2013.12.18, http://myanmarbusinesstoday.jp/id/1148)
- $^{(7)}$ 同月次統計では、2013年の6月と7月のインドへの全ての品目の輸出データが完全に重なるなど、信頼性に問題はあるが、おおまかな傾向を知るのには有用である。
- ® 三井物産は、2013年 2 月に、ミャンマーでコメ事業への参入を発表した。ミャンマー米の集荷・加工・販売を担う 国策民営会社 Myanmar Agribusiness Public Corporation(MAPCO)とコメ事業で幅広く提携し、共同で精米・加工の大型工場をヤンゴン地区などに建設する。MAPCO との事業提携を軸に、コメ輸出量の大幅な拡大を計画するミャンマーに農業事業の足場を築き、営農指導から加工・販売まで一貫して手がけることで現地のコメの貿易取扱量で主導的な地位確保を狙っている。(DIAMOND online 2014.1.23, http://diamond.jp/articles/-/47543)
- (9) しかし、ミャンマーにはコメの輸出先を中国1国に頼ることへの懸念もある。ミャンマー・コメ連盟 (MRF) のイー・ミン・アウン事務総長は、地元メディアのインタビューに対して、現時点では対中輸出に期待をしているが、1カ国に頼るのはリスキーであるという趣旨の発言をして、輸出先を広げることで、中国依存からの脱却を目指す考えを示した。(産経ニュース 2015.5.9、http://www.sankei.com/world/news/150510/wor1505100001-n1.html)
- (10)米国農務省の統計によると、ミャンマーは 1961~63 年の年間平均輸出量が約 170 万トンで世界一だった。その後、経済制裁などで輸出が落ち込んだものの、2011 年の民政移管以降はコメ輸出も本格的に再開、60 年代の水準に近づくまで回復した。同国政府は今後数年で輸出量 300 万トン突破を目指している。(Sankei Biz 2015.1.13,

http://www.sankeibiz.jp/macro/news/150113/mcb1501130500005-n1.htm)

- (11) 人口データは World Bank の推計値を使用した。2014 年に行われたミャンマー政府の人口調査による同年の人口は 5,148 万人,World Bank の値は 5,372 万人であり 4%の過大推計となっている。
- (12) 岡本 (2006) は、豆類輸出急増の背景には、1980 年代末の農産物流通自由化による民間輸出の解禁と豆類の最大輸入相手国インドの輸入需要の増加があると指摘している。

[参考文献]

岡本郁子 (2005)「ミャンマー市場経済移行期のコメ流通」,藤田幸一 (編)『ミャンマー移行経済の変容―市場と統制のはざまで』アジア経済研究所。

岡本郁子 (2006)「ミャンマー―市場経済化と農業発展―」, 重富真一 (編)『グローバリゼーションと途上国農村市場の変化―統計的概観―』アジア経済研究所。

岡本郁子(2014)「ミャンマー米産業の現状」,工藤年博(編)『ポスト軍政のミャンマー―テインセイン政権の中間評価 ―』アジア経済研究所。

久保公二,塚田和也(2011)「コメ政策―価格政策と公共投資―」久保公二(編)『東南アジア移行経済の経済政策と経済構造』アジア経済研究所。

栗田匡相,岡本郁子,黒崎卓,藤田孝一(2004)「ミャンマーにおける米増産至上政策と農村経済」,『アジア経済』8月。 高橋昭雄(2000)「現代ミャンマーの農村経済」東京大学出版会。

藤田孝一(2005)「開放経済移行下のミャンマー農業」,藤田幸一(編)『ミャンマー移行経済の変容―市場と統制のはざまで』アジア経済研究所。

室屋有宏(2012)「ミャンマーの稲作農業」農林金融8月号, pp. 38-55。

Ministry of National Planning and Economic Development,

"Selected Monthly Economic Indicator".

Ministry of National Planning and Economic Development, "Statistical Yearbook".

United Nations Statistic Division (http://unstats.un.org/unsd/snaama/dnlList.asp).

 $USDA, "PSD\ Online" \quad (\underline{http://apps.fas.usda.gov/psdonline/psdquery.aspx}) \ \ .$